

(様式2)

## 令和6年度 上阿多古小学校運営協議会自己評価表

### ＜本年度の目標＞

- 学校教育への理解を今以上に深め、小規模ならではの発展と充実に向け、何が大切なのか方策を考えていきたい。そして、学校と地域の協働にもつなげていきたい。
- 地域の方々に学校のことを伝え、地域と一体化した学校教育を推進していきたい。

### ＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校教育目標やキャッチフレーズである「自分に（さらに新しいことに）チャレンジ」することなどについて、分かりやすく説明を受け理解できたと思う。特に授業参観などで子供たちの様子を見て、教育目標である「自分で考え、行動し、つながる子」に育ってきていると感じている。
- できた。
- 学校運営や児童のために小規模校ならではの行事や運営について、各委員が建設的な意見を述べる能够做到ている。
- 授業参観では、子供たちが自分で考え授業に積極的に取り組む姿勢が見え、先生も一方的ではなく、子供たち一人一人の意見を導き出すという少人数（小規模校）ならではの良さを感じることが多くあった。
- 目標に向かって取り組んでいると熟議した。
- 小規模ならではの発展と充実では、少人数の中での学校行事がすごく充実していたと思う。家庭や地域の方々が一体化となり協力しとても素晴らしい学校行事ができたと思う。子供たちも、家庭、地域の方々のつながりの大切さを分かることができたと思う。

### ＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 児童数が年々減少してきている中で、イベントの開催や教育活動などに様々な問題が生じてきているが、何事も振り返りや反省が新たな成長につながることを信じ、委員同士で様々な意見を交換することができたと思う。
- 参観の視点に沿って授業を参観することで、子供たちの具体的な姿から基本方針に迫る熟議がされた。また「スポーツフェスティバル」「ぎんなんまつり」の2大行事について、子供たちが主体的に取り組み、学校、家庭、地域が一体となって盛り上がる充実した活動となるよう熟議がされた。児童数減少の中で、スポーツフェスティバルも盛り上がり、良かった。教育活動全般を通して、小規模校、少人数教育の良さを理解し、上小教育推進のために後押しすることができたと思う。
- できた。
- 委員の声掛けで、地元企業に勤務していた人が働いていた時の経験を部品（パーツ）など持ってきて見せながら、子供たちに分かりやすく話してくれた。
- 学校支援活動は、協議会として意見を述べるだけに止まり、地域での役割が果たせているのか、課題がある。
- 小規模校なので地域の方の協力が必要であると熟議した。
- 学校行事では、家庭、地域のつながりを意識することができていたと思う。地域の方々に学校のことを伝えて、地域と一体化した学校教育ができていたと思う。

### ＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 協議結果などについて、十分とは言えないが、学校からのたより「銀杏」などにより、情報発信できていると思う。今後もさらなる方法を考慮することもあると思う。
- ＣＳだより、学校ホームページ、回覧等、情報発信はできていると思う。継続していくことが大切であると思う。
- できた。
- 協議結果の十分な情報発信はできなかった。子供がいない地域の人は、回覧板を回しても見ない。ホームページも見られない人もいます。
- 学校だより、銀杏を活用した情報発信が実施されている。
- 学校が委員の働きかけ（方法不明）により地域の方が課外授業に協力してくれた。これにより「チャレンジ精神」や「自ら考える」大切さが伝わったのではないかな。

### ＜評価項目 4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 何事も振り返りや反省が必要であると思う。いずれにしても、子供たちが楽しい学校生活を送れるよう、子供の目線に立った取り組み・活動をしていくことが大事であると思う。
- 上小教育への理解を深めると共に、子供たちと一緒に活動できるよう、行事等への委員の参画の仕方を考えていきたい。
- 子供一人一人にあった教育、言葉遣いへの教えに深く取り組んでほしい。
- 小規模校ならではの子供たち、一人一人の個性の良さを活かせる（伸ばせる）学習をする。
- 小規模校の利点を活かした教育の継続ならびに、地域への行事参加。
- 地域の方の協力が重要であることは変わらない。力を借りられるような取り組み（回覧、声掛け）を継続する必要があるのではないかな。
- 子供たちが安全、安心、楽しく学校に行くことができるように支援をしていきたいと思う。少人数の中での学校行事になるが、子供たちの良い思い出ができるように、家庭、地域の方々と支援をしていけたら良いと思う。